

事業名

At-Kyoto 上京区ピアサポート事業 (ベビー&キッズ用品交換会ほか)

実施 団体



At-Kyoto

事業報告

新型コロナウイルス感染拡大による影響は、行政や施設主体の場の閉鎖や利用制限に繋がり、地域行事も次々に中止。人と人の繋がりがあつという間に立たれていくそんな現実を生み出しました。より深刻になっていく孤立と経済的負担。

At-Kyoto では、産前産後と子育て世帯の現状に目を向け、閉塞した人と人の繋がりの循環を目指し”ベビー&キッズ用品交換会”をスタートしました。

併せて、産前産後のさまざまな問題に目を向け、**二つの分野（妊娠葛藤、精神保健）の小冊子・絵本を購入。地域関係団体への共有含め、必要とされる方へすく**に届けられる体制準備にも取り組んでいます。



小冊子・絵本を通じた
情報提供



At-Kyoto の”ベビー & キッズ用品交換会”は、2010 年から京都市内でベビー&キッズ用品の交換の場を続けてきた”ベビー & キッズ用品交換会 コデカケ”さんの存在があって実現したものです。(コデカケ <https://kyo-kodekake.jimdoofree.com/>) **コデカケさんの協力のもと、交換ルールとチケットの共有という形でスタート**を切りました。

会場の”小児用補装具専門 ゆめ工房”と”相談支援事業所 しぼふぁーれ”それぞれの手厚いサポートの下、取り組む中で、開催地域の皆様の理解と協力は大きな支えとなりました。

大型品を出し入れできる倉庫を貸してくださる方、搬出入から利用者対応までを担ってくださる方、交換品の提供や寄附、広報活動など、**地域住民の中に協力者が増え、スタート当初には出来なかった事が出来る環境**になっていきました。

そんな**環境の変化に合わせ**、At-Kyoto の”ベビー & キッズ用品交換会”では、【 まだ使えるけれど自分達には必要なくなったもの を 次に必要とする誰かのために持ち込んでもらい 持ち込めるものがある人もない人も 必要なものに出会えたら、必要なだけを持ち帰ってもらう 】ただそれだけの、**シンプルなルールへ変更**、運営方法も変えていきました。

HPの更新だけでなく、**交換会専用の”LINE 公式アカウント”**を立ち上げ、**プッシュ型通知で、交換会情報を確実に届ける体制**を取りました。**大型用品や出産準備用品などの交換情報を LINE 上に共有。**



LINE 公式
アカウント

一対一のメッセージのやり取りで個別ニーズを聞き取ったり、さまざまな事情で交換会へ行くことが難しい方、出産を控えた妊婦さんや産後間なしのご家庭への訪問など、積極的な個別対応に取り組み、**関係性の構築**にも力を入れてきました。

週末の商店街”小児用補装具専門 ゆめ工房”と、平日住宅街の一軒家”相談支援事業所 しぼふぁーれ”タイプの異なる二つの会場で**計 14 回の交換会を実施**。現在約 150 名が登録している LINE 公式アカウントでの、**個別対応数は 60 件を超え、延べ約 500 世帯**に利用いただくことができました。

令和 4 年度は、**相談支援事業所 しぼふぁーれでの交換会**は、出学区の**主任児童委員と地域の有志**による新たなユニット”わたしたち”へ主催を移行。毎月第1火曜日(10 時~12 時)に**定期開催**していくことになりました。この事は大きな成果です。

令和 4 年度、**At-Kyoto としては**、”わたしたち”の交換会のバックアップをしながら、他の開催地域の皆さまと協力し、引き続き、多様な交換の場”At-Kyoto ベビー & キッズ用品交換会”を創っていきます。

協力：一般社団法人ライフラボ 小児用補装具専門 ゆめ工房
出学区主任児童委員 ベビー & キッズ用品交換会 コデカケ
後援：上京区社会福祉協議会 デザイン：カズマキカク



